



校長通信 Morifun Vol.5

モリフ生の皆さんこんにちは。校長通信第5号は、4月下旬から5月にかけての話題をお送りします。

硬式野球部 ピッチャー講習会
4月25日(木) @本校1階ホール

この日は本校舎のエントランスホールで、硬式野球部の投手の諸君がトレーナーの稲村忠明さんから投球の際の身体の使い方についてレクチャーを受けました。

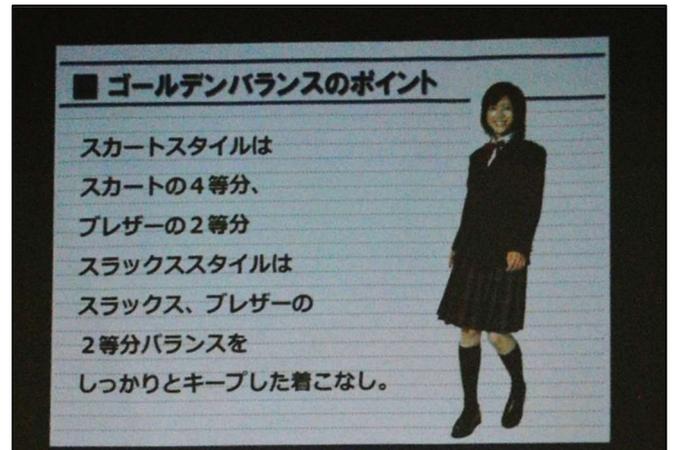


私(校長)は野球の素人ですが、稲村さんの講義は「体幹の回転の動きに合わせて腕がしなやかに出てくる」メカニズムについてのお話だったようにお聞きしました(間違っていたらゴメンナサイ!)。稲村さんは「理論と実践」の両方の大切さを教えて下さったのだと思います。野球部の皆さんには、本校の素晴らしい指導者の方々のご指導を活かして、さらに強くなっていただきたいと思います。

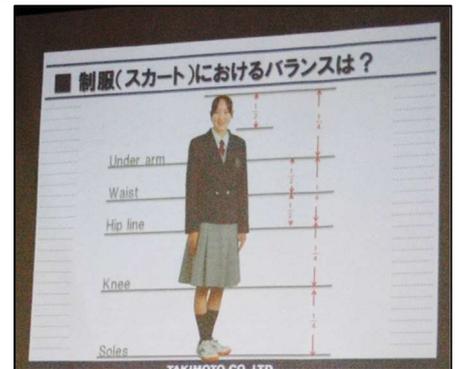


身だしなみセミナー

4月30日(火) @本校体育館



制服業者の瀧本株式会社から制服デザイナーの新崎詠子さんを講師にお招きして、制服の着こなしを中心に



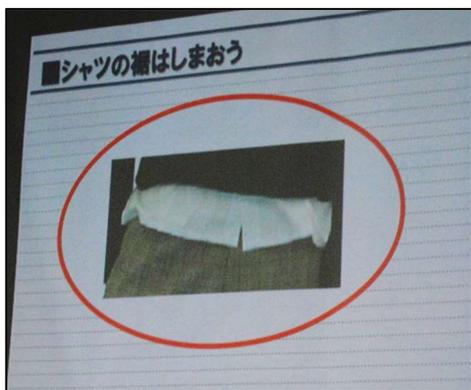
した「身だしなみセミナー」が本校で初めて開催され、全校生徒がお話を聞きました。

新崎さんからはスライドにあるように具体的な制服の着こなしの「NG」についてお話がありま



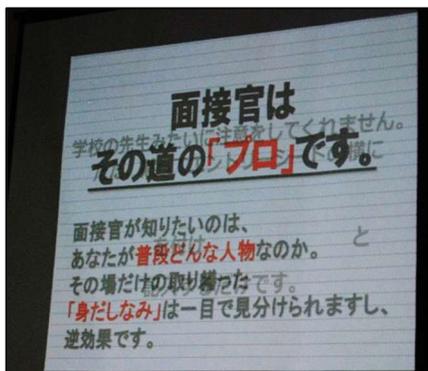
した。しかも「なぜそれがNGなのか」という理由をはっきりと述べて下さったので、生徒の皆さんは普段の制服の着こなしや身だしなみが自分の進路達成に関わる大切なことなのだということが分かったと思います。

私が一番印象に残ったのは、「(進学や就職の)



面接当日だけちゃんとすれば大丈夫と思いませんか？面接官は『プロ』です。その場だけ取り繕っても一

目で見分けられます」というお話でした。普段の身だしなみのせいで希望の進路がかなえられなくなってから後悔したのでは



遅いですね。制服の乱れを注意されてしまいがちな生徒さんには、このセミナーを機に、後悔しない学校生活を送っていただきたいと思います。

なお、セミナー終了後の「お礼の言葉」は、2-4の永山嘉人さんが生徒を代表して述べました。その内容が素晴らしかったので、ここに全文を掲載します。

「今日の講座で学んだことは、制服を着用する意味や組織で制服などの共通点や統一性を保つ意味です。最近ニュースや新聞などで『ブラック校則』や『学校の厳しすぎるルールを改善すべき』といった報道をよく見ます。しかしそれらの報道は、組織において長所である共通性や統一性を失うことにつながります。確かに組織を自由化することによって多くの長所や美徳が生まれますし、自由化によって束縛から解放されて新たな発見や自由化が生まれます。しかしその『自由化』の後には組織の長所や美徳を破壊する『自由化の行き過ぎ』が待っています。組織にとって最大の美点であり条件であるのは、規律や統制を保ち続けることです。それらの束縛を緩くすれば緩くするほど、組織としての美徳は廃れていきます。学校は社会で生きる上での出発地点だと思います。その出発時点において、組織の束縛や意味は十分にあります。自分は学校における制服などの『組織としての決まり』は残していくべきだと思いました。新崎先生、今日は貴重なご講演をありがとうございました」

遠足 5月1日(水)

1年生：国立岩手山青少年交流の家

2年生：盛岡手づくり村 小岩井農場まきば園

3年生：くずまき高原牧場

爽やかに晴れ渡った五月の空のもと、各学年の遠足が実施され、生徒の皆さんはクラスと学年の親睦を深めました。皆さんの楽しさが伝わってくる写真を紹介します。



↑ 1年生の創作体験はアケビつるクラフトです。



2年生は手づくり村で南部せんべいを焼いたり小岩井でビーチバレーしたり♪



すみません！スペースがなくなりましたので、3年生の写真は次号で紹介します！！

See you soon!